

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年2月25日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年2月25日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【雑固体廃棄物焼却設備の配管凍結防止用ヒーターの焼損について】 協力企業作業員が別作業で現場に行った際、雑固体廃棄物焼却設備の冷却塔(A)散水ポンプ(a)凍結防止用ヒーターが焼損していたことを確認。 冷却塔は2系統あり別系統で運用可能であるため、焼却設備の運転に影響なし。 今後、当該設備の点検を実施し、原因および調査を実施。 なお、消防署より「その他火災」と判断。	G I	2月18日
2	【1号機および3号機の原子炉格納容器水位低下について】 当直員が定時データ採取において、1号機の原子炉格納容器水位が低下傾向にあることを確認。その後、3号機についても水位の低下傾向を確認。 地震後の原子炉注水設備のパラメータおよび目視点検では異常なく、原子炉への注水は適切に行われており、デブリの冷却には支障ないことを確認。 また、敷地境界のモニタリングポスト、ダストモニタ、構内ダストモニタに有意な変動なし。 今後、詳細な原因調査を実施。	G II	2月18日
3	【陸側遮水壁設備の凍結プラント用冷凍機(B)系停止について】 当直員が電源復旧操作時に陸側遮水壁設備の凍結プラント用冷凍機(B)系が、通信異常警報により停止したことを確認。 原因は地絡継電器監視強化工事後の電源復旧操作により、冷凍機制御盤15台が同時に立ち上がったため、一時的に通信渋滞が生じ通信異常が発生したと推定。 通信異常解除手順に沿って操作し、復旧済み。停止時間が短時間であったため陸側遮水壁への影響なし。 なお、(A)系は点検停止中。 今後、原因を調査。	G III	2月18日
4	【陸側遮水壁設備の冷却水循環ポンプ停止について】 当直員が陸側遮水壁設備の冷却水循環ポンプの故障警報が発生し停止したことを確認。 冷却水循環ポンプは複数台あり、設備の運転に影響なし。 今後、当該ポンプの点検を実施。	G III	2月20日
5	【6号機 中央制御室の床コンセント不良について】 当直員が6号機 中央制御室の床コンセントの不良を確認。 床コンセントより使用のパソコンが突然電源断となり電圧測定したところ、定格100Vに対し83～85Vと低い値だったため、コンセント回路断線の可能性と判断。 使用していたパソコンは別のコンセントを使用し、異常のないことを確認。 今後、コンセントの修理を実施。	G III	2月22日